

序号	材 料 名 称	单 位	乌市供应单价	乌市预算单价	本地预算单价	备 注
183	铝合金龙骨配件 アルミ鉄部材	公斤	11.1000元	13.8800元	14.28	
184	膨胀螺栓 膨胀木ルト	个	1.1900元	1.2400元	1.34	
185	3X10自攻螺丝 自攻木ルト	百个	3.2500元	3.3800元	3.68	
186	小门用小磁球 小門用小珠	个	1.1200元	1.1600元	1.20	
187	矿棉吸音板 矿棉吸音板	平米	12.0300元	12.5000元	13.00	
188	化纤钙塑板 化纤钙塑板	平米	14.4300元	15.0000元	15.50	
189	2-2x4-20镀锌机制部钉 部釘	百个	0.0000元	0.7600元	0.86	
190	空		0.0000元	0.0000元		
191	空		0.0000元	0.0000元		
192	空		0.0000元	0.0000元		
193	0.5-2.5石灰石 石灰石	公斤	0.0250元	0.0600元	0.07	
194	空		0.0000元	0.0000元		
195	空		0.0000元	0.0000元		
196	红砖 赤いレンガ	千块	39.6000元	62.5600元	95.00	
197	松散碎砖 はらばら石料	立米	7.0000元	7.0000元	8.00	
198	240X115X53砖 レンガの生地	千块	14.0000元	33.6500元	35.00	
199	290X140X100土块 土塊	千块	8.3300元	51.0000元	70.00	
200	330X166X100土块 土塊	千块	10.8300元	66.3200元	85.00	
201	200X100X25水泥砖 セメントレンガ	千块	720.0000元	748.0000元	898.00	
202	330X330X30阶砖 階レンガ	块	1.3400元	1.3900元	1.50	
203	150X75X6滑面砖 滑面レンガ	块	0.3950元	0.4100元	0.55	
204	25X25马赛克 モザイク	平米	18.0000元	19.2800元	20.00	
205	150X150X5.6磁砖 磁レンガ	块	0.3400元	0.3600元	0.53	
206	150X150X15缸砖 缸レンガ	千块	252.0000元	269.9200元	500.00	
207	230X115X65耐火砖 耐火レンガ	千块	571.0000元	610.7900元	1380.00	
208	耐火砖碎块 耐火レンガ粉	公斤	0.1300元	0.1400元	0.41	

序号	材 料 名 称	单 位	市 场 供 应 单 价	市 场 预 算 单 价	本 地 预 算 单 价	备 注
209	230X113X65耐酸磁板(白) L=カ	千块	1762.3100元	1897.6100元	2500.00	
210	230X113X65耐酸磁板(白) 磁板	块	1.7600元	1.8900元	2.50	
211	150X150X30耐酸磁板(白) 磁板	块	3.3300元	3.5800元	4.32	
212	150X150X20耐酸磁板	块	1.0200元	1.0900元	1.30	
213	内 粒 陶 粒	立米	150.0000元	160.6000元	180.00	
214	彩釉面砖	平米	16.8800元	18.0800元	24.38	
215	玻璃马赛克 カラスのモザイク	平米	12.0000元	12.8500元	17.00	
216	厚20MM内板 (厚20mm) 陶板	平米	66.0000元	70.6900元	76.90	
217	厚30MM内板 (厚30mm) 陶板	平米	70.0000元	74.9800元	81.28	
218	厚50MM内板 (厚50mm) 陶板	平米	75.0000元	80.3300元	86.63	
219	毛面面砖 (白) L=カ	平米	31.1200元	33.3300元	39.60	
220	500X500人造大理石板 人造大理石板	平米	100.0000元	107.1100元	125.00	
221	空	平米	0.0000元	0.0000元		
222	415X215粘土平瓦 粘土葺	千块	187.0000元	223.0300元	223.00	
223	400X250粘土背瓦 粘土トム型葺	千块	200.0000元	236.0000元	236.00	
224	385X255X15水泥瓦 以外葺	千块	260.0000元	297.0000元	297.00	
225	455X195水泥背瓦 pyトム型葺	块	0.2800元	0.3170元	0.32	
226	小波石棉瓦 小波石棉葺	块	9.9800元	10.3700元	13.00	
227	大波石棉瓦 大波	块	29.1300元	30.2800元	36.50	
228	石棉背瓦 石棉トム葺	块	2.7900元	2.9000元	3.40	
229	玻璃瓦 カラスの葺	平米	656.4300元	682.0000元	732.00	
230	3MM茶色玻璃 茶色のガラス	平米	23.6000元	24.5300元	32.50	
231	5MM茶色玻璃	平米	51.5400元	53.5700元	61.50	
232	4MM开片玻璃 开片ガラス	平米	12.6000元	13.1000元	21.10	
233	6MM开片玻璃	平米	19.2000元	20.5500元	28.50	
234	粗砂 半粗砂	立米	4.1000元	18.5600元	20.00	

序号	材 料 名	单 位	乌鲁木齐市供应单价	乌鲁木齐市预算单价	本地预算单价	备 注
235	中砂 冲砂	立方米	6.8200元	21.3400元	16.25	
236	细砂 细砂	立方米	7.8600元	22.4100元	9.00	
237	洗砂 洗砂	立方米	11.0000元	25.8700元	26.00	
238	豆粒砂 豆粒砂	立方米	3.5600元	18.0000元	23.50	
239	砾石10mm以内 小石10mm以下	立方米	5.7900元	21.7800元	23.50	
240	砾石20mm以内 20mm以下	立方米	5.7900元	21.0800元	21.00	
241	砾石40mm以内 40mm以下	立方米	5.2800元	20.3300元	15.40	
242	15-10MM碎石 碎石	立方米	12.2400元	23.4000元	15.40	
243	戈壁 戈壁(砂漠)	立方米 ³	2.0000元	16.0000元	15.00	
244	150mm以上卵石 15cm以上玉石	立方米	3.5000元	18.5000元	13.00	
245	片石 片石	立方米	3.6500元	17.1300元	15.30	
246	400X200X200方整石 方石	立方米	152.4000元	172.3700元	47.94	
247	300X120X200方整石板 方石板	平方米	20.6700元	23.1300元	29.75	
248	卵石 全体の玉石	立方米	5.1000元	13.6100元	17.24	
249	白石子 白石子	公斤	0.1500元	0.1700元	0.29	
250	色石子 有色石子	公斤	0.1900元	0.2000元	0.74	
251	3-10MM石屑 3-7mm石粉	公斤	0.1300元	0.1400元	0.20	
252	白石子砂 白石子砂	公斤	0.1400元	0.1500元	0.60	
253	过筛炉渣 灰から取り出す	立方米	0.6000元	9.6500元	8.00	
254	炉渣 灰から	立方米	15.0000元	34.9300元	19.20	
255	大理石粉 大理石粉	公斤	0.1300元	0.1400元	0.55	
256	大理石砂 大理石砂	公斤	0.1300元	0.1400元	0.55	
257	500X500大理石板 大理石板	平方米	157.3000元	163.4900元	170.00	
258	250X250烧黄土板	平方米	8.3300元	8.6600元	10.39	
259	花岗岩板 花岗岩板	平方米	220.0000元	230.9000元	200.00	
260	190X110X20铸石板 铸石板	块	0.4800元	0.5000元	0.50	

序号	材 料 名	单 位	乌市供应单价	乌市预算单价	本地预算单价	备 注
261	石英砂 石英砂	公斤	0.2500元	0.2600元	0.66	
262	石英粉 石英粉	公斤	0.2200元	0.2300元	0.63	
263	石英石 石英石	公斤	0.1100元	0.1200元	0.52	
264	石粉 石粉	公斤	0.1300元	0.1400元	0.54	
265	铸石粉 铸石粉	公斤	0.3000元	0.3100元	0.71	
266	8-12目重晶石	公斤	0.3900元	0.4100元	0.81	
267	玻璃石粉 重晶石粉	公斤	0.3950元	0.4100元	0.81	
268	重晶石砂 重晶石砂	公斤	0.3950元	0.4100元	0.81	
269	生石灰 生石灰	公斤	0.0660元	0.0800元	0.15	
270	熟石灰 消石灰	公斤	0.0660元	0.0800元	0.15	
271	石灰块 石灰	公斤	0.0660元	0.0800元	0.20	
272	石灰石砂 石灰石砂	公斤	0.0300元	0.0660元	0.07	
273	石灰膏 石灰膏	立米	58.3200元	60.6200元	105.59	
274	耐火土 耐火土	公斤	0.1300元	0.1400元	0.54	
275	粘土细粉料 粘土细粉料	公斤	0.1200元	0.1300元	0.50	
276	粘土细粗粉料 粘土细粗粉料	公斤	0.1600元	0.1700元	0.70	
277	粘土粗粗粉料 粘土粗粗粉料	公斤	0.1300元	0.1400元	0.70	
278	白坭土 白坭土	公斤	0.0500元	0.0600元	0.10	
279	艾苦土 マクネサ	公斤	0.4600元	0.4800元	0.88	
280	硅藻土 ケイ藻土	公斤	0.4000元	0.4200元	0.82	
281	粘土 粘土	立米	1.4800元	10.5900元	16.00	
282	生石膏粉 生石膏粉	公斤	0.2100元	0.2200元	0.30	
283	熟石膏粉 消石膏粉	公斤	0.3500元	0.3600元	0.50	
284	矽石 Al ₂ O ₃ 石	立米	55.0000元	63.5600元	120.00	
285	珍珠岩 真珠岩	立米	60.0000元	68.6900元	105.00	
286	及1244石膏板 石膏板	平米	9.1100元	9.4700元	6.85	

序号	材	料	名	称	单位	乌鲁木齐市供应单价	乌鲁木齐市预算单价	本地预算单价	备注	
287	3MM	压花玻璃	压花	のガラス	平米	6.6700元	7.2900元	12.10		
288	5MM	压花玻璃			平米	10.1000元	11.3400元	22.10		
289	4MM	夹丝玻璃	糸	ガラス	平米	0.0000元	0.0000元			
290	5MM	夹丝玻璃			平米	0.0000元	0.0000元			
291	6MM	夹丝玻璃			平米	30.7600元	32.9500元	38.00		
292	6MM	钢化玻璃	すり	ガラス	平米	19.5700元	21.1600元	26.00		
293	加气	砼	面板	~	立米	140.0000元	151.4500元	160.45		
294	空				平米	0.0000元	0.0000元			
295	3MM	一等玻璃	-	級	ガラス	平米	7.5400元	8.2400元	13.60	
296	5MM	一等玻璃			平米	14.5800元	15.8300元	23.54		
297	5MM	磨砂玻璃	刺	ガラス	平米	15.1600元	15.4400元	24.01		
298	圆	钉			公斤	2.9700元	3.0400元	3.49		
299	扣	钉	扣	釘	公斤	2.1800元	2.2700元	2.67		
300	30X5MM	木螺丝	ねじ	き	百个	2.1500元	2.2300元	2.45		
301	100X3MM	带帽螺丝	木	ルト	公斤	2.2000元	2.2900元	2.69		
302	端头	螺丝	ねじ	柱	公斤	2.3000元	2.4000元	2.80		
303	镀锌	圆钉	亜鉛	ねじ	ねじ	个	0.1200元	0.1300元	0.17	
304	镀锌	圆钉	亜鉛	ねじ	木	ねじ	个	0.1300元	0.1400元	
305	镀锌	扁圆钉	亜鉛	平	鋼	鋼	个	0.2900元	0.3000元	0.36
306	12#	铁丝	金	糸	公斤	2.5000元	2.6000元	2.81		
307	白	纱	糸	の	カー	テ	平米	2.8400元	2.9600元	2.08
308	镀锌	铁丝网	亜鉛	ねじ	か	な	平米	8.8400元	9.2100元	9.84
309	8#	镀锌	铁丝	亜鉛	ねじ	鉄	公斤	2.0400元	2.5000元	2.82
310	10#	镀锌	铁丝		公斤	2.3400元	2.4400元	2.87		
311	12#	镀锌	铁丝		公斤	2.4900元	2.5900元	3.15		
312	13#	镀锌	铁丝		公斤	3.1700元	3.3000元	3.75		

序号	材 料 名 称	单 位	乌市供应单价	乌市预算单价	本地预算单价	备 注
313	22#镀锌铁丝 五金店铁丝	公斤	4.0300元	4.2000元	4.44	
314	24#镀锌铁丝	公斤	5.1900元	5.4000元	4.00	
315	20#镀锌钢板 五金店钢板	平米	10.7300元	11.3500元	13.60	
316	26#镀锌钢板	平米	6.1100元	6.4600元	7.30	
317	24#镀锌钢板	平米	8.6700元	9.3800元	11.00	
318	取 0.5MM铁皮 金头板	公斤	1.5100元	1.6000元	3.00	
319	24#镀锌瓦楞铁皮 五金店波形	平米	17.9100元	18.5400元	19.50	
320	25#镀锌瓦楞铁皮	平米	14.6500元	15.1600元	18.20	
321	电焊条 电焊条	公斤	2.3900元	2.4800元	3.43	
322	聚氧乙炔焊条 木口焊条	公斤	4.6400元	4.8200元	5.60	
323	焊锡 焊锡	公斤	19.3500元	20.1100元	20.50	
324	电石 电石	公斤	0.6600元	0.6900元	1.51	
325	煤气 煤气	立米	1.8300元	1.9000元	7.00	
326	合金钻头 合金钻头	个	11.7300元	12.1900元	14.59	
327	240X280X240铁皮烤箱 金头板天火	个	14.0000元	14.5500元	17.00	
328	三角金钢磨石 三角金钢磨石	块	3.3100元	3.4400元	3.50	
329	36#金钢砂 金钢砂	公斤	6.0000元	6.2400元	6.64	
330	200#自由折页 自由折页	个	13.1000元	13.5900元	14.20	
331	窗窗铰链 窗窗铰链	个	0.4500元	0.4700元	0.52	
332	40MM折页 折页	个	0.0950元	0.0900元	0.21	
333	65MM折页	个	0.1500元	0.2100元	0.47	
334	75MM折页	个	0.2300元	0.2400元	0.63	
335	90MM折页	个	0.3300元	0.3400元	0.65	
336	100MM折页	个	0.4600元	0.4900元	0.71	
337	150MM折页	个	0.5100元	0.5300元	1.00	
338	50MM窗窗铰链 窗窗铰链	个	0.4200元	0.4400元	0.48	

112

序号	材 料 名 称	单 位	乌市供应单价	乌市预算单价	本地预算单价	备 注
339	60MM圆齿插销 圆插销	个	0.4900元	0.5100元	0.73	
340	65MM圆齿铁轴 圆铁轴	个	0.1900元	0.2000元	0.50	
341	100MM插销 插销	个	0.3100元	0.3200元	0.36	
342	150MM插销	个	0.4000元	0.4100元	0.47	
343	200MM插销	个	0.5100元	0.5300元	0.77	
344	300MM插销	个	1.0900元	1.1300元	0.82	
345	150MM暗插销 暗插销	个	2.1000元	2.1800元	3.70	
346	300MM暗插销	个	2.5800元	2.6800元	4.95	
347	50MM穿管插销 穿管插销	个	0.4200元	0.4400元	0.60	
348	125MM拉手 引手	个	0.2800元	0.2900元	0.38	
349	150MM拉手	个	0.3600元	0.3800元	0.48	
350	263MM拉手	个	6.5000元	6.7400元	5.80	
351	102MM弓形拉手 弓形拉手	个	0.2200元	0.2300元	0.34	
352	400MM管子拉手 管形引手	个	19.5000元	20.4600元	23.40	
353	100MM风钩 风钩	个	0.0600元	0.0700元	0.08	
354	150MM风钩	个	0.0900元	0.1000元	0.12	
355	符合200MM密钩 特製密钩	个	0.1860元	0.1900元	0.15	
356	羊眼圈	个	0.0254元	0.0260元	0.01	
357	钢板网 钢板网	平米	6.1500元	6.4100元	7.02	
358	75MM门扣	个	0.1650元	0.1700元	0.15	
359	100MM门扣	个	0.2620元	0.2700元	0.29	
360	对钉管子并	个	0.2350元	0.2440元	0.27	
361	双孔炉盖	付	18.2500元	18.9700元	18.97	
362	单孔炉盖	付	10.0400元	10.4400元	12.44	
363	炉罩	个	2.1500元	2.2300元	3.03	
364	22MM倒挂衣勾	个	1.5800元	1.6400元	2.04	

设计计算书

P9

第

页共

页

常用的水泥标号及钢筋的性能.

普通硅酸盐水泥 275[#]

325[#]

425[#]

I级钢筋. 屈服点大於或等於 2400 kg/cm^2

小於 2400 kg/cm^2 为废品.

II级钢筋. 屈服点大於或等於 3400 kg/cm^2

小於 3400 kg/cm^2 为废品.

III级钢筋. 屈服点大於或等於 4000 kg/cm^2

小於 4000 kg/cm^2 为废品. 多经冷拉

用于预应力混凝土结构.

和田市第一小学用箋

شەنجاڭ خوتەن شەھەرلىك باشلانغۇچ مەكتەپ قىمش قەغەزى

和田市粘土砖质量资料

P8.

和田市吐沙拉乡机砖厂

达到标准 75#

和田县建材公司砖厂

" 100#

卡尔苏砖厂

" 100#

哈尔库木砖厂

" 75#

志雅乡砖厂

" 75#

说明:

此表为质量检验机构标准砖厂检验所检验成果

新疆维吾尔自治区建筑科学研究所

试验报告单

1987年元月3日

字 号

样品名称	页岩灰砂砖	送样单位	和田地区灰砂砖厂
编 号	/	收样日期	86年12月
产 地	和田地区	未样编号	/

一、标号测定试验

序号	抗压强度 kg/cm^2	抗折强度 kg/cm^2
1	120.7	34.8
2	155.2	44.2
3	103.4	32.6
4	120.7	29.8
5	132.8	45.7
平均值	126.6	37.4

二、抗冻试验 (经 -15°C 下15次冰融循环)

1. 抗压强度未降低。

2. 单块干重损失最大为1.2%

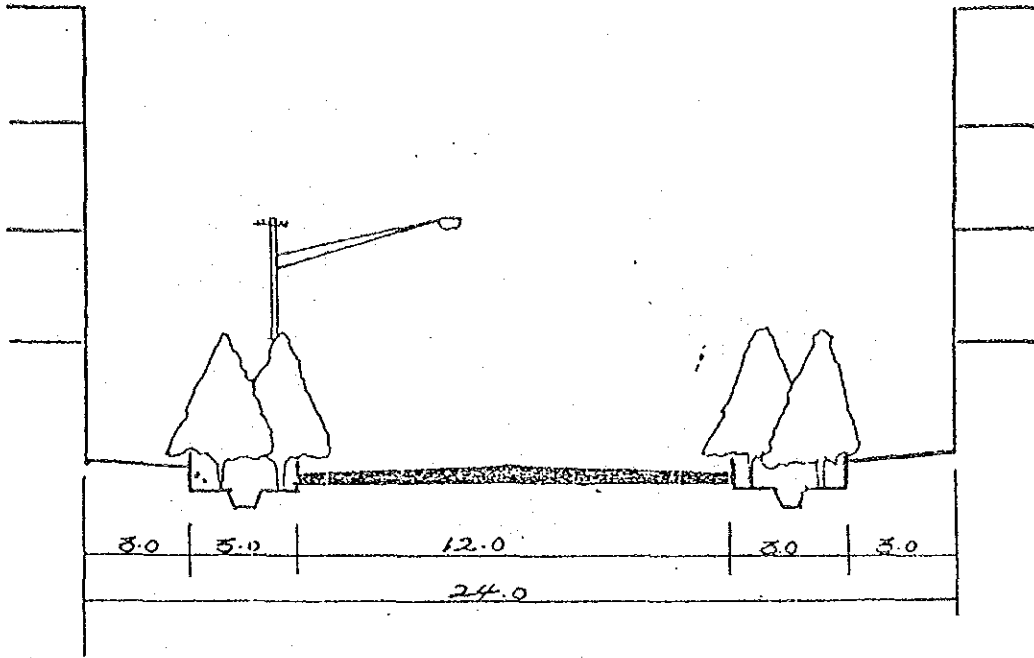
三 每块重量 0.6~2.7 kg. $240 \times 115 \times 53$

备注：根据以上试验结果，对照国家基本建设委员会的部颁标准《页岩灰砂砖》(JC153-75)，该厂灰砂砖样品(当地标准部门抽样)的标号为100#。抗冻性能合格。

负责人 秦小亭

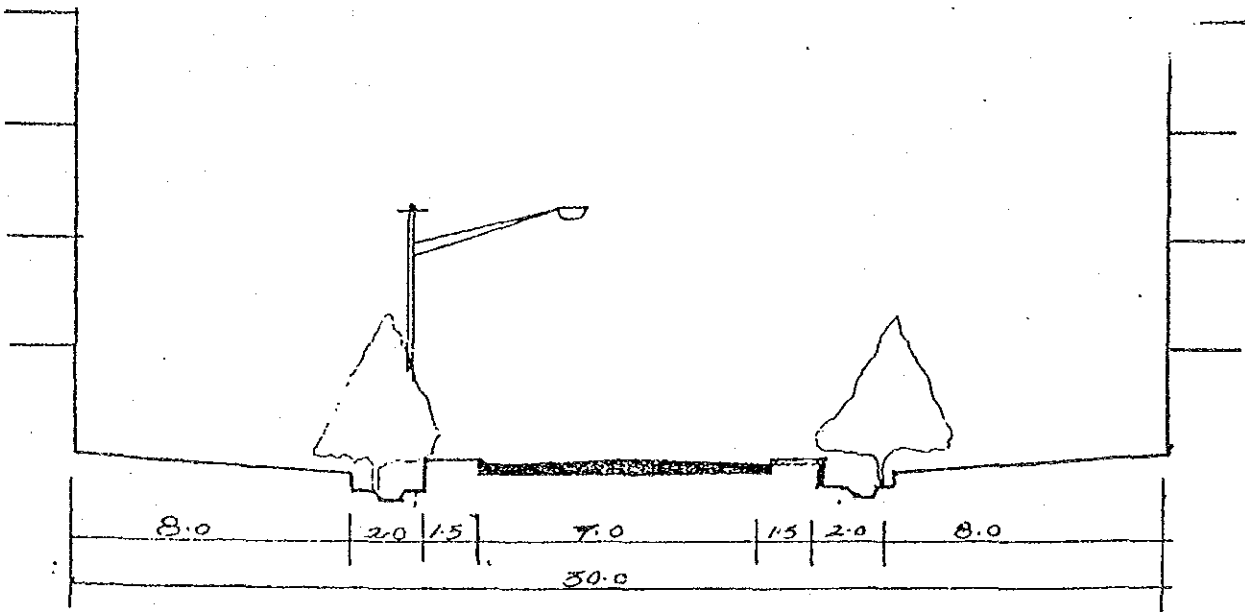
主任 秦

化验员 袁芳玲, 王泽波



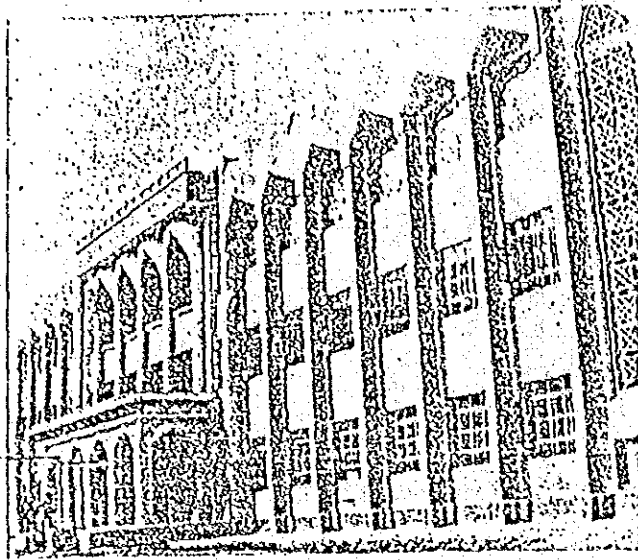
単位: m

蓮後路



単位: m

小島路



巩留县一中迁入新建教学大楼

1987.9月17日，巩留县一中 900多名哈萨克族中学生迁入了最近落成的教学大楼。

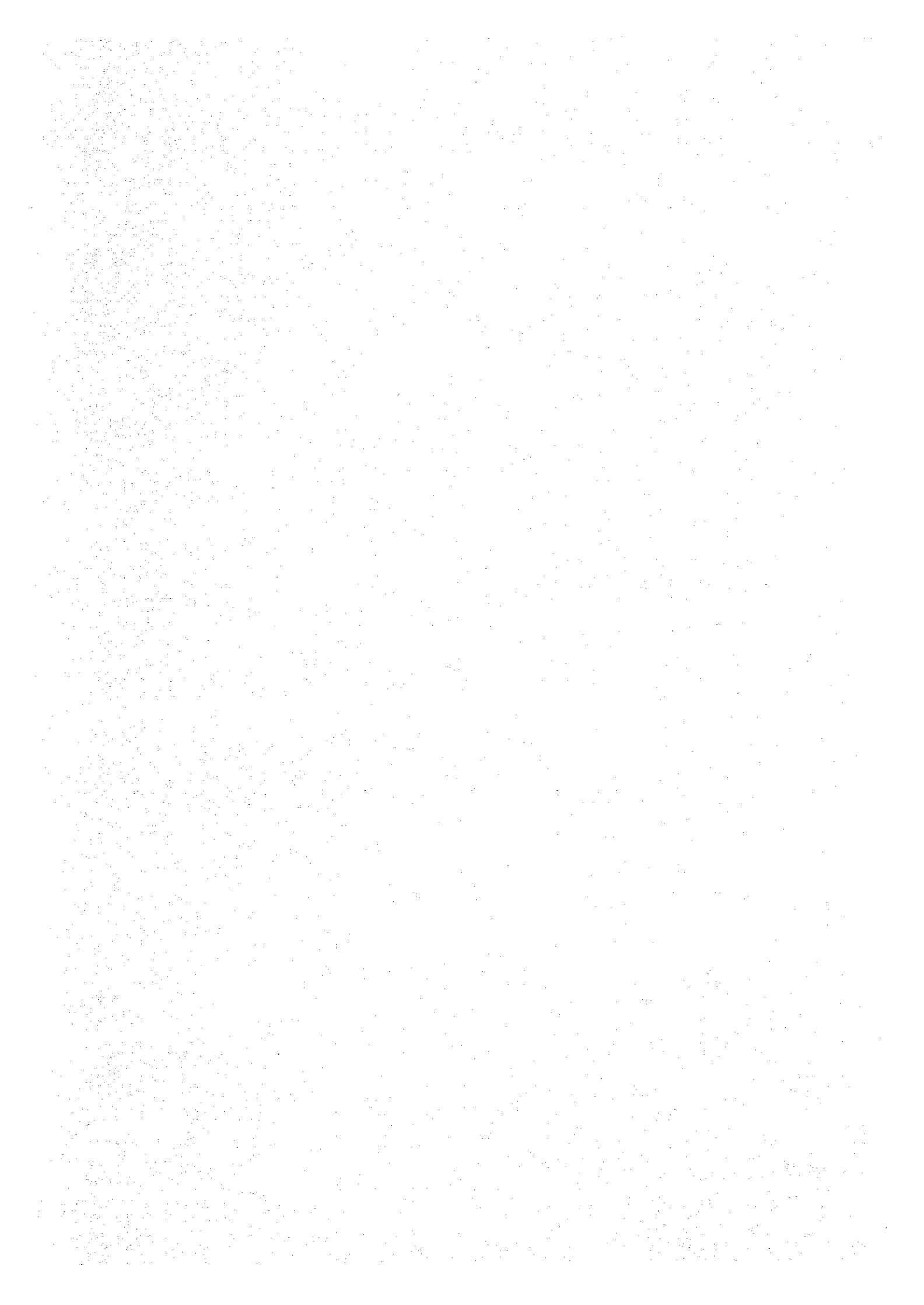
这座新颖别致，具有独特民族风格的3层教学大楼，是去年5月国家投资78万元开始兴建，今年8月竣工的。新建楼拥有42间教室，总面积为2800平方米，为目前该县最大的教学大楼。

$$78 \div 2800 = 279 \text{元}$$

新疆摄影报道

恐留县第一中学校で900名のカザフ族生徒は、9月17日に新しい教学棟へ転校しました。この教学棟は、独特な民族風格を持つ新しいタイプの3階建てで、昨年5月から今年の8月にかけて造られました。総面積が2800m²、教室は42室あり、78万元を投資した本県最大の教学棟である。

(1987.12.7 新疆日報)



會議議事録

- 13・和田市から日本への直接の連絡については、テレックスのみである。
- 14・和田市から日本へ手紙を出した場合の日数については、和田市、ウルムチ、上海経由となるので1週間程度は要する。
- 15・ウルムチから日本に電話連絡に要する時間については、1時間程度である。
現在自治区では、国際電話の導入を検討している。
- 16・工事の施工を和田市のどの会社が担当するかについては和田市において決定される。
- 17・建物については、4階建ては一般的であり、10階建て以上の建物を建設する能力はある。
- 18・小学校に於ける4階建ての規模については、和田市の状況によって決定する。
- 19・今回の無償資金援助のプロゼクトにおける管理体制については、整っている。
- 20・道路舗装公司における冬季の工事休止期間については、ウルムチでは12月、1月、2月であるが和田市では1年中施工できる。
- 21・日本の設計図を中国側で書き直すか否かについては、日本の設計図に従い施工する。
- 22・施工図については、中国側で書く。
- 23・日本の設計図が提出された後の予算を中国側で積算する日数については、10日程度である。
- 24・前回の調査団に提示された1M²あたり450元の価格については、なにか根拠があると思われる。
この新疆ゲストハウスは1M²あたり800~900元である。
- 25・建物手続きが法規制が途中で変更になった場合については、契約した時の法律で行う。
- 26・工事金額の支払いについては、分割払いとし竣功後1年間の保証期間は一定り比率で残し、建設銀行が支払う。
- 27・支払いの回数について自治区では3段階としている。
日本の無償資金援助の場合は、40%、30%、20%10%になっている。
- 28・前回の調査団資料による一人当たりの1.62m²の面積の数値については、教育部門と相談することとする。
- 29・調査資料として中国Xinjiang Uyghur自治区対外経済貿庁に図表・工事積算資基準資料を提出し調査記入を依頼した。
尚和田市からの帰途までに調査記入を依頼した。

類似施設調査

期 日 1987年12月4日
施設名称 UYGUR第5小学校

*** 調査内容 ***

- 1・教師陣については、教師62名と定年退職者教師14名であり、教師の中に大学卒2名でありその他は中等専門学校である。
- 2・児童数は、1024名
- 3・クラス数は、22クラス
1クラス平均児童数は45名である。
- 4・学年制度については、学年は1～5年までの5年制である。1988年からは6年制となる。
9月入学で7月卒業である。
- 5・教科については、普通科目の他に地理、歴史、体育等の科目がある。
音楽室は1年生から5年生まで使用する。また理科実験室は4年生、5年生が使用する。音楽については、児童は歌うだけで先生が楽器を使用する。
- 6・就学率については、100%に近い。入学の増加率はある。
- 7・スポーツについては、サッカーが盛んであり北京の競技会において8位となった実績がある。
- 8・教師の授業時間については、1週16時間である。
- 9・3年生より漢語を学習する。
- 10・授業時間については、午前の授業は10時から1時30分まで、午後の授業は3時30分から5時20分までである。
1回の授業は40分であり、休み時間は10分である。また2時間目終了後に20分間体操の時間が規定されている。
- 11・1クラスの大きさについては、56m²～57m²である。
- 12・学校放送については、外部の体操用と室内用の2系統である。
- 13・児童の食事については、各家庭に帰り食事する。
教師の食堂はあるが食物を暖める設備のみである。
- 14・長期の休暇については、夏休みは45日間（7月5日から8月末まで）で、冬休みは30日間（1月18日から2月末まで）。

15・教室の天井高	3,300
16・腰高	1,500 (塗装にて色彩区分)
17・教室長さ	9,000 幅 6,200
18・教壇高さ	一般床面+150 幅 1,000
19・小ばりピッチ	3,000
20・階段幅	2,400
21・階段踏面	320 け上げ 150
22・廊下幅	2,400

打合せ記録

期 日 1987年12月5日
場 所 XINJIANG GUEST HOUSE
立会者 別紙参照

*** 内容 ***

- 1・和田市の学校分布については、中学校が2校と小学校が4校ある。
- 2・中学校の生徒数については、約2,000人で小学校の児童数は4,000人である。
- 3・和田地区の教育及び設備については、他の地区に比較して、教師のレベルが低く、また教育の設備が遅れているので問題がある。
- 4・教科の規定については、国語、算数、常識（生物、物理、科学）、漢言、音楽、美術、体育など国家教育委員会が指定した内容がある。
1990年までに達成するように努力する。
- 5・孤児400人の問題については、職業訓練による技術の習得しなければならない。
- 6・その他の問題については、国家教育委員会において衣服と食事の問題は解決した。
- 7・教師の資質向上については、1990年までに教師のレベルアップする計画である。
- 8・孤児となる原因については、
 - 1)・衛生上の問題（泥水を飲む）があり両親を亡くす。
 - 2)・経済的理由による離婚
 - 3)・平均寿命が短い
- 9・1人当たり床面積については、 1.64 m^2 の面積は最低の要求であり、新しい学校は 2.0 m^2 を要求されている。
- 10・1クラスの人数については、国家规定により40人（実際は50人、60人の場合もある）である。
- 11・設計基準、放送設備規定、防災計画については、後日教育委員会より資料を提出することとする。

- 12・小学校の設備等については、ウルムチ第5小学校の設備等の内容は大変整備されている学校である。
- 13・屋上の使用は、使用していない。
- 14・和田市はウルムチの区に相当する。
- 15・建設規格については、最終的には和田市が決定する。
- 16・学校専用車については、車輛はない。大学においては、専用の車がある。児童は歩いて通学する。
- 17・和田市から大学に進学した人については、1200人中100人程度である。

一般消費価格

期 日 1987年12月6日
 場 所 Xinjiang in the city
 单 位 元

□ 生活雑貨品

1. トイレットペーパー	1巻	0.76元
2. 石鹼	1個	1.75
3. シャンプー	1本	4.2
4. 深鍋(シチュー用)	1個	8.6
5. 洗面器	1個	4.6
6. 料理用スプーン	1本	2.6
7. 洗濯用粉500g	1袋	0.88
8. ポット	1個	14.0
9. バスタオル	1枚	19.0
10. 富士フィルム36枚ASA100	1本	15.7
11. スチール折りたたみ椅子	1脚	44.4
12. ライター	1個	199~48.0
13. 水筒	1個	6.0
14. カーペット(700×1400)	1枚	788.9

□ 電気製品

1. 扇風機	1台	170.0
2. スタンド式扇風機	1台	207.0
3. 冷蔵庫(東芝167ℓ)	1台	2,560.0
4. 洗濯器(日立PS-63)	1台	793.0
5. 掃除器	1台	584.0
6. テレビ	1台	645~435.0
7. ドライヤー	1台	61~37.0

□ 電気製品

8. ヘヤーブラシ付きドライヤー	1台	24.0
9. 電子レンジ	1台	72.0
10. 炊飯器	1台	70.0
11. ラジオカセット	1台	568.0
12. カセットテープ	1本	3.0
13. 電卓(シャープ5100S)	1台	263.0
14. 水銀電池	1個	1.7
15. 単3電池	1個	0.22
16. 単1電池	1個	0.37
17. 1口用ソケット	1個	0.5
18. 3口用差し込みタップ	1個	1.44
19. テレビアンテナ	1組	42~17.0

□ 衣料品

1. 女性用黒毛皮コート	1枚	125~66.0
2. 男性用オーバー	1枚	140.0
3. 男性用レインコート	1枚	55.0
4. 男性用ジャケット	1枚	33.0
5. 白ワイシャツ	1枚	8.5
6. 毛布	1枚	125~48.0
7. 羊毛セーター	1枚	49~35.0
8. 靴下	1組	2.1
9. 革靴	1個	35.0
10. 長靴(男性用)	1個	80.0
11. 子供用運動靴	1個	6.0
12. 子供用革靴	1個	18.0
13. バスケットシューズ	1個	11.0

□ 楽器

1. ヤマハキーボード	1台	1550.0
2. カシオキーボード	1台	1470.0
3. ギター	1台	116.0

□ 工具

1. 発電機(ヤマハET500)	1台	2435.0
2. 電気のご切り	1台	455.0
3. 電気ドリル	1台	544.0
4. 電気カンナ	1台	474.0
5. ドライバー	1本	0.9
6. ハンマー	1本	4.85
7. 小運搬台車	1台	31.0
8. 水平器	1個	13.8
9. 左官鍬	1本	3.49
10. 万力	1台	39.0
11. ガラス切り	1本	21.0
12. ペンチ	1本	2.9
13. スパナーセット	1組	18.0
14. ニッパ	1本	2.6
15. 巻尺(50m)	1個	37.0
16. グリス充填器	1個	7.5
17. カッターナイフ(KDF)	1本	18.9
18. カッターナイフ刃	1枚	13.4
19. 製図セット	1組	36.0
20. ハンダ付け器	1個	4.4

□ 建築材料

1. ドア握り玉	1個	17~22.0
2. 扉取付用猫眼	1個	3.5
3. 丁番(4寸)	1枚	1.04
4. 丁番(3寸)	1枚	0.45
5. T型取付け金物	1枚	0.12
6. L型取付け金物	1枚	0.12
7. 扉握り手($l=30\text{cm}$)	1組	27.0
8. 壁紙(幅50cm長さ10m)	1本	31.1
9. 飾りテープ(幅3cm)	1m	1.3
10. デコラ板(1.8m×1.3m)	1枚	248~122.0
11. スパンドレルアルミ板	1m ²	110.0
12. 塗料(0.6Kg)	1缶	4.11
13. ロールはけ	1本	7.7

□ その他

1. 自転車	1台	238~227.0
2. 本(常用建築材料試験手冊)	1冊	7.5
3. 白墨	1箱	0.35
4. 白墨(カラー)	1箱	0.58
5. 黒板拭き	1個	0.64
6. ボールペン	1本	0.28
7. バレーボール	1個	5.17
8. 卓球ラケット	1個	14~1.26
9. ガスボンベ(15Kg)	1本	106~98.0

□ 電気関係材料

1.	蛍光灯40w-1	1本	5.05
2.	蛍光灯20w-1	1本	3.66
3.	白熱灯40w	1本	0.49
4.	コンセント(雄)3P	1個	0.8
5.	キャノピースイッチ	1個	0.54
6.	コードペンソケット	1個	0.50
7.	テーブルタップ3P-3	1個	1.44
8.	絶縁テープ	1巻	1.40
9.	KS-2P 10A	1個	3.43
10.	15	1個	4.35
11.	30	1個	6.22
12.	60	1個	11.20
13.	KS-3P 15A	1個	7.26
14.	30	1個	10.4
15.	60	1個	18.7
16.	ターミナル 60A	1個	0.40
17.	75	1個	0.65
18.	100	1個	0.85
19.	150	1個	0.98
20.	200	1個	1.30
21.	300	1個	1.37
22.			

打合せ記録

期 日 1987年12月7日
場 所 Xinjiang Guest House
立会者 別紙参照
建築工程総公司

*** 内容 ***

1. 総公司の人員は40,000人
2. 総公司の技術人員は7,000人
3. 総公司の高級技術師は30人
4. 総公司の年間建築の延べ面積は120万m²
5. 総公司の所在地はウルムチにある。第1～第5公司是ウルムチで南疆公司是カシュガルにある。
6. 和田市で建設する公司については、現在未定である。
7. 和田市の公司については、3級の企業で全員で700名である。
管理と技術者はウルムチで担当し、労働力は和田市で担当する。
8. 管理と技術者については、ウルムチから和田市へ派遣する。
9. 同じ建物をウルムチと和田市で建てた場合の経費については、運搬費の分和田市のほうが高い。
10. 和田市における建材の輸送については、建材が少なく大部分は輸送して搬入する。
11. 和田市における建材については、焼煉瓦、セメントがあるが質も量も満足できない。
12. 和田市にはPC柱、梁の工場は無いが、ウルムチには国家の検査に合格したPC工場が7箇所ある。
13. 和田市における4階建て建築物の工法としての種類は、現場打ちコンクリートがある。
14. 定額については、今年から建築税と営業税が加わった。又国家の規定により地方の規定があるので一定しない。
15. 営業税と建築税の比率については、後日総公司より資料を提出する。
16. 建築工事の定額38.7%については、後日総公司より資料を提出する。
17. 設備工事の定額10.2%については、後日総公司より資料を提出する。

18. 中国国内の工事における敷地については、建物を建設する敷地と同程度の敷地が必要であるが、ウルムチには材料があり必要ないが、他の場所では必要である。
19. 和田市における材料設置場所の敷地については、和田市が借り上げる。
20. 和田市で工事の出来ない期間については、 -10°C の場合は外装のタイル工事及び塗装工事と室内の塗装工事が該当する。室内は工事用暖房装置を使用して、工事する。但し躯体工事施工可能である。
また、アスファルト舗装工事は施工不可能である。
21. 和田市における暖房開始の期間については、総公司より後日資料を提出する。
5日間連続して外気温度が、平均温度 5°C 以下であればの場合は暖房が必要である。

打合せ記録

期 日 1987年12月8日
場 所 和田市人民政府
立会者 別紙参照

*** 内容 ***

1. 日程説明及び調整

12月8日(火) PM: 和田市人民政府表敬訪問、日程打合せ
12月9日(水) AM: 第1小学校、第2小学校現地調査
PM: 関係機関との協議
12月10日(木) AM: 関係機関との協議
PM: 関係機関との協議
12月11日(金) : 柏木基本設計団長、中村団員、及神谷JICA
職員和田市表敬訪問
AM: 関係機関との協議
PM: 建設事情調査
12月12日(土) AM: 柏木団長他協議 Minutes案検討
12月13日(日) : 建設事情調査
12月14日(月) : Minutesの説明
12月15日(火) : 建設事情調査
PM: ウルムチへ移動(13:00発)
12月16日(水) : Minutes署名

2. 前回の調査団による調査資料では、和田市における建設価格が450元/m²と記載されていることについては、王副市长より現在の価格について、校舎は躯体のみで280元/m²であり、最低でも600元/m²程度であり、一般は800~900元/m²程度の価格である旨説明を受けた。
3. ウルムチにおいての建設価格300元/m²については、王副市长より、ウルムチと和田市では運搬距離が2,000kmあり和田市の方が高いとの説明を受けた。
4. 要請書については、現在も和田市の要望は変化はない旨説明をうけた。

5. 前回の事前調査団が来た時に実施管理委員会を構成する件については、実施今回管理委員会は成立した。後日王副市長より資料を提出する。
6. 日本からの通関手続きについては、和田市の責任者がウルムチまで通関手続きのために出向く。
7. 前回の事前調査団に説明した鋼材、セメント、木材は国内平価については、今回後日王副市長より資料を提出する。
8. 焼煉瓦については、2種類あり一つは一般的に地元の土で製造したものである。一つは石灰と砂と混合して製造したものである。
9. 4階建ての建物の構造については、柱、梁は現場打ちコンクリートである。
10. 和田市における建材については、コンクリート及び型枠がある。
11. 和田市においての4階建ての建物の標準工期については、基礎及び躯体は4～6ヶ月、内外装は設備共6～7ヶ月必要である。
12. 和田市の土壌については、アルカリ分が多い。
13. 建築資材の設置場所については、人民政府が別に考慮する。
14. 工事を担当する会社については、ウルムチの会社か和田市の会社かは入札によって決定される。
15. 入札については、入札の方法は日本と同じである。
16. 日本の図面を中国側で書き直す件については、民族の習慣、風習等について中国側で図面をチェックして修正する。

現地調査

期 日 1987年12月9日
場 所 和田市第二小学校
立会者 校長以下7名

*** 内容 ***

1. 教師陣については、管理職を含めた教師は74名で、そのうち64名が教師である。
また、74名のうち64名は女性であり男性教師は9名である。
2. 児童数については、1440人で男児童数は826人(57.4%)であり、女児童数は614人(42.6%)である。
3. 学年別の児童数については、下記のとおり。

5年生	4クラス	195人
4年生	4クラス	206人
3年生	6クラス	282人
2年生	5クラス	278人
1年生	4クラス	220人
4. 教室については、16クラスが不足している。
5. 授業の内容については、ウイグル語、数学、歴史、地理、理科、道徳、音楽、図工等である。3年生より毎週4時間の漢語の学習を実施している。
6. 授業時間については、25～35時間である。
7. 音楽教室については、音楽教室は無く授業は普通教室で行っている。
8. 果樹園の樹木については、伐採予定。
9. 既存校舎の階段については、幅1,500、け上150、路面300。
10. 既存校舎の教室については、幅6,400、長さ9,000、梁下端まで3,000。

現地調査

期 日 1987年12月9日
場 所 和田市第一小学校
立会者 校長、教務主任、会計士他4名

*** 内容 ***

1. 和田市の重点校については、第一小学校と第二小学校である。
2. 和田市の50%の漢民族については、第一小学校に通学している。
3. 教師陣については、68名で男性教師15名、女性教師53名であり、90%以上は中等師範卒業である。
4. 児童数は1,072人
5. 男児童数は522人(48.6%)、女児童数は548人(51.4%)
6. 現在の校舎については、1956年に建設された。また一部の校舎は1962年に建設された。
7. 教師の資質向上については、夏と冬及び休日は教室を利用して勉強している。
8. 学校の敷地面積については、第一小学校の敷地面積は30,000m²、第二小学校の敷地面積は15,000m²である。
9. 学校建設の計画は、教室棟、体育館棟、特別教室棟、宿舍棟に分けられ、トラックは300mの計画である。
10. 校舎建設工事に係る校舎解体については、児童は3箇所の学校に分散する。
11. 地質調査については、第一小学校2箇所、第二小学校1箇所を計画実施予定である。第一小学校の地質調査の1箇所は完了(14mまで調査し、水位は14mの地点)
12. 道路東側の商店等入居の建物については、解体する。
13. 既存校舎の構造(残存)
 - 建物長さ 56,700
 - 教室幅 5,700
 - GLから床まで 800
 - 窓幅 1,470
 - 教室入口階段 4段

打合せ記録

期 日 1987年12月9日
場 所 和田市第一小学校
立会者 別紙参照

*** 内容 ***

1. 和田市人民政府の教育政策について、
 - 第一小学校は現在の3年生より6年制となる。
 - 第二小学校は現在5年制である。
 - 第三～五小学校は6年制である。
 - 入学率は99%である。
2. 各種統計について
 - 教師数は349名である。
 - 後日和田市より資料を提出する。
3. 児童福祉の現状について
 - 和田市の孤児は390人であり男子58%、女子42%である。
 - 孤児の原因として、
 - ・ 経済と文化程度が低い場合
 - ・ 辺鄙な村で生活水準が低くまた子供が多くなり遺棄する場合。
 - ・ 両親を病気で亡くす場合。
 - ・ 親類で育てるのが困難な場合
 - 後日和田市より資料を提出する。
4. 和田市の位置について
 - ・ コンロン山脈の北に位置する。
 - ・ 南が高く北が低い地形である。
 - ・ 和田地区の人口は121万人で97%がウイグル民族で3%が漢民族である。
 - ・ 和田市は地区の文化、経済の中心である。
5. 和田市の概要について
 - 人口、農業等の生産額、プロジェクトの概要については、後日和田市より資料を提出する。

6. 運営体制について

後日和田市より資料を提出する。

7. 計画内容調査項目

- ・学年別、授業形態等は後日和田市より資料を提出する。
- ・第一、第二小学校の共用施設として、暖房設備、運動場、医務室、教育館。
- ・地域住民には日曜と夜間開放して使用する。
- ・夏、冬の休みには和田地区の教師が使用する。
- ・孤児の日常生活時間割りは、後日和田市より資料を提出する。
- ・地域の民族習慣は、元旦と春節があり、金曜日はイスラム教の活動がある。
- ・年間の行事表については、後日和田市より資料を提出する。

8. 計画内容協議事項

- ・個別指導については、将来は実施する方向である。
- ・新しい教育手法として、LL、マイコンがある。
- ・夏、冬の長期休暇を利用した集中授業は実施している。
- ・農繁期、農閑期対応の授業は無い。

9. 施設機材計画

- ・普通教室は36室である。
- ・1教室あたり収容人員は46人で教室面積は54m²でよい。
- ・音楽室面積は54m²×4室で12時間使用する。
収容人員は46人。
- ・音楽室準備室面積は16m²×4室
- ・語学教室面積72m²×4室、収容人員は46～48人で第一小学校は英語勉強し、第二小学校は漢語を勉強する。
- ・教師用図書閲覧室、資料室面積は94m²×2
収容人員は1室30人
- ・理科教室面積は68m²×2室、4年生以上毎週2時間授業
- ・行政事務室14室×16m²
- ・教学事務室20×20m²
- ・放送室等6室×14m²
- ・会議室1室×90m²

- ・医務室は福利院に設置
- ・給湯室各階毎 24 m^2
- ・便所各階毎 30 m^2 男女別手洗い付き
- ・1階受付 22 m^2
- ・体育機材室 2室 $\times 33\text{ m}^2$
- ・雑物倉庫 2室 $\times 41\text{ m}^2$

第二小学校

- ・普通教室 12教室を 16教室に変更する。
- ・音楽室 1室 $\times 54\text{ m}^2$
- ・理科室 2室 $\times 68\text{ m}^2$

福利院

- ・居室 40室 $\times 20\text{ m}^2$

打合せ記録

期 日 1987年12月10日
場 所 和田市第一小学校
立会者 別紙参照

*** 内容 ***

1. サイト調査

- ・敷地面積 : 第一小学校 27,894m²
: 第二小学校 14,712m²
- (周囲の内側で算定)
- ・撤去する校舎の児童は分散する。
- ・年計画道路 第一小学校西側 計画道路30m
南側 計画道路24m(現在10m)
東側 計画道路24m(現在10m)
第二小学校西側 計画道路24m(現在10m)
南側 計画道路24m(現在10m)
東側 計画道路30m
- ・建築制限 道路からの建物の距離の制限有り
- ・上下水道管 西側道路に200φ
- ・残材処理 4Km離れた位置に捨てる。
管理費2元、人件費10元(5tトラック)
- ・建築制限 和田市より後日資料を提出する。
- ・日影 周囲は平屋が多く問題ない。
- ・残存建物 第一小学校は2棟残し撤去する。
付帯の建物は建設時に解体する。
- ・土地の所有 所有権は国家、使用権は学校

2. 地盤情況

- ・地質調査 14日までに和田市より報告する。

3. インフラ状況

- ・電力引込み 高圧10,000 V
- ・電圧 380~220V

・電気料金	2.5元/KWH
・電圧変動	±5V
・停電	3～4ヶ月に1回
・周波数	50HZ
・電話	ウルムチまで 至急2元4角 一般1元2角 日本まで 3分から4.4元/分
・プロジェクトの電話	問題はない
・テレックス回線	有り
・電話据付け	1,200元
・電話料金	毎月市内の場合18元
・上下水道	圧力変動3K～5K 加圧最大は5.5K、AM8時～PM8時までは 圧力有り、PM8時～AM8時は自然圧力
・断水	停電以外はない。
・水道料金	1t/m ³ 0.30元
・水源	地下水で3箇所の井戸
・下水道	生活排水250¢
・雨水	雨が少ないので地下浸透式
・下水排水基準	和田市の規定はないので国家の規定を適用する。
・下水料金	無料
・ガス	現在建設中で来年ボンベを支給する。 一般家庭は石炭か蒔きである。
・工事用の電力等	許可を得れば臨時施設は使用できる。

4. 自然条件

- ・温度、湿度、風等後日和田市より資料を提供する。
- ・災害の歴史については、和田市は震度6の地域であるので、建物の設計は震度7の要求とする。
- ・地滑りは無い

- ・雷は大陸性乾燥地帯であり無い
窓は砂と防寒のため二重とし網戸をつける。
- ・その他
雪溶け水による洪水

5・建築活動に関する統計等

1)・建築着工量

和田市における1年間の建築工事着工延べ面積及び件数について
後日和田市より資料を提出する。

2)・建築投資額

和田市における1年間の建築工事額(元)について
後日和田市より資料を提出する。

3)・m²当たり金額

和田市における建築のm²あたり金額について
迎賓館で800元/m²

4)・建設関連労働人口

和田市における煉瓦工、コンクリート工等の職工人員について
後日和田市より資料を提出する。

5)・職種と賃金について

後日和田市より資料を提出する。

6)・主要資材の生産量

砂利、煉瓦、PC梁・柱、セメント等生産量について
後日和田市より資料を提出する。

7)・主要資材の価格推移

砂、セメント、鉄筋、木材、ガラス等のここ10年間の推移について
後日和田市より資料を提出する。

9)・主要資材の流通経路

鉄筋、セメント、木材、ガラス等どの地域から搬入について
一般はウルムチからでウルムチに無い場合は北京か他の省

10)・主要資材の輸入状況

鉄筋、セメント、木材、ガラス等の輸入の有無について
鉄筋は西ドイツ、ソ連、日本

6・建築に関する教育・訓練

1)・技術教育の制度

エンジニア等技術者のための学習制度の有無について
専門学校は無い公司内で訓練及び別の地区へ研修する。

- 2) ・技術労働者種類について
大工、左官、暖房
- 4) ・技術労働者教育の学年数について
2年間
- 5) ・技術労働者教育卒業生について
1982年から180人

7・建築行政・関係法規

- 1) ・建築法令
実施設計を行う上での建築法令の内容について
後日和田市より資料を提出
- 2) ・行政法令
和田市における建築設計の指導方針の有無について
防火規範等後日和田市より資料を提出
- 3) ・行政組織
和田市の建築関連の行政組織について
後日和田市より資料を提出
- 4) ・手続き
和田市における設計の申請に伴う手続きの内容について
後日和田市より資料を提出
- 5) ・地域的法規制
暖房及び冬期の屋外工事にかんする規制の有無について
5℃以下は暖房する。
- 6) ・建築技術者の資格
建築設計及び工事監理に関する資格の内容について
後日和田市より資料を提出する。
- 7) ・建設業
建設工事を行うための法律の有無について
後日和田市より資料を提出する。
- 8) ・建設業の許可事項の有無について
建築、給水、電気等の工事着手前の許可有り
- 9) ・建築物の登記方法
建物竣功後の登記の有無について
土地使用許可書があり、建築の所有権がある。

8・建築公司・設計院の現状

下記については後日和田市より資料を提出する。

1)・組織図について

2)・人員 技術者の総人数について

3)・建築設計院の数について

和田市における設計院の数は1院

4)・設計院の標準的組織

和田市における設計院の標準的組織について

5)・設計院の人員

和田市における設計院の技術者の人員について

6)・設計院の設計量

年間設計金額	800万～1,000万元
年間設計件数	10件
年間設計延べ面積	15,000～20,000m ²

9・建設工事の実態

1)・発注方式

入札方法

入札の回数及び設計金額のx%について
2回とし2回以降の場合はべん公室でその内容を
審査する。1987年から入札基準が定められた。
比率は設計金額の5%程度

資格条件

参加者の資格について
後日和田市より資料を提出する。

2)・契約方式

契約書の内容

標準契約書の書式については、後日和田市より資
料提出する。

保証書

保証書提出有り

工事監理方式

政府の監督部門と同時に監理する。
後日和田市より資料を提出する。

完成検査

検査チェックリスト有り

引き渡し方式

引き渡し書類の標準内容提出有り

3)・積算

標準的積算書式 標準書式有り
新しいのは1988年1月30日完成する。

積算単価(別紙資料)

歩掛り(別紙資料)

4)・標準工期

工期 4階建て7,000m²の工期については、
コンクリート造の場合412日
煉瓦造の場合295日
複雑な場合は15%増し
冬期は50%増し
遅延の場合の保証 契約の中に明記してある。
1/万~3/万

10・労務状況(職工)

1)・就業時間 就業時間10時~14時、15時30分~20時

2)・休憩時間 1時間30分

3)・労務費 (別紙資料)

早朝作業の場合は割増しはある。

11・施設の維持管理

1)・維持管理の方法 屋根、床、壁
引き渡し後の維持管理規定は無い。
学校では総務室で行う。

12・その他

1)・社会習慣上避ける事項 動物の模様は避ける。但し草の模様はよい。

宗教上避けるべき事項 和田市では住宅での便所は西側は避ける

2)・その他 起工式、竣功式は有
経費は人民政府負担

打合せ記録

期 日 1987年12月11日
場 所 和田市第一小学校
立会者 別紙参照

*** 内容 ***

1. 無償資金協力の仕組みについて説明する

- ・ 中華人民共和国と日本国は交換公文の締結をする
日本の設計会社とコンサル契約をする
- ・ 和田人民政府
日本の施工会社と工事契約をする

中国建築会社と契約

2. 王副市長よりどの程度の予算で、できるか相談したいとの申し出があった
3. 協議議事録のサインはウルムチで16日に行うとのことを王副市長に確認した。
4. 第一小学校・第二小学校の内容詳細について協議
 - ・ 第一回の代表調査団に全体の建築面積の指示済みである
 - ・ 第一小学校7000m²、第二小学校4000m²の面積は廊下等共用面積が含まれていない。
5. 12月11日に受領した資料について確認をした
 - ・ 主体教室棟、体育館、総合棟、食堂棟、児童福利院、ボイラー室、職員住宅、屋外関係等
6. 給排水、暖房（一部冷房）、電気設備について協議確認をした
 - ・ 便所はすべて水洗式とする、浄化槽が必要となる
 - ・ 児童の大便器は和風式とする、手洗場は連続式とする
 - ・ 給湯室では児童が飲湯するのでその設備をするまた手洗場を設置する。
 - ・ 石炭ボイラー設備及び高圧側受変電設備の設計は中国側に依頼する。ただし費用は当プロジェクトに含むことを中国側より要望があるので検討する。

- ・日本から調達する機材の電圧は、基本的には中国の電圧を中国側は要望している
- ・構内電話（第一、二小学校共用）を各職員室及び特別室に設置する。
- ・構内放送は第一、第二の各々の設備とし学年別（二元式）放送が可能な設備とする
- ・TV用アンテナ配線は各教室、特別室に設置する。
- ・防災設備は基本的には中国側基準とし予算によっては一部日本側基準のものを採用するよう検討する

7 無償資金が大幅に超過した場合の対策について

- ・建物、機材などの要請内容の順位について検討しその内容を提出することを中国側に要望した（尚 生徒、教師の机、椅子は中国側で準備するように要請した）
- ・機材要請の中の医療機器は当プロジェクトでは認められないことを指示した

打合せ記録

期 日 1987年12月12日
場 所 和田市第一小学校
立会者 別紙参照

*** 内容 ***

柏木団長、中村団員、神谷JICA職員合流

1. 農協設計より日程説明。

・ 13日優先順位打合せ

建築現場見学

・ 14日協議議事録の再確認協議

・ 15日ウルムチへ移動

・ 16日協議議事録のサイン

・ 17日ウルムチから北京経移動

2. 官側より無償資金援助の内容及び範囲について説明

3. 中村団員よりJICAの行うことについて説明

・ 2月下旬にレポートを中国側に送付（日本文）

・ 3月上旬レポート草案の説明のため来訪予定

・ 4月末最終報告書を日本文で送付

打合せ記録

期 日 1987年12月13日
場 所 和田市第一小学校
立会者 別紙参照

*** 内容 ***

第一小学校

1. LL使用方法について
英語を3年生より、1週3時間授業する。
ウルムチにはLLはあるが、和田市にはないので模範を示したい。
国家の規定により、英語、仏語、日本語の選択科目となっている。
2. CP教室について
1982年にCPを購入した。
目的として、英語、プログラムの編成、操作方法の取得がある。
3. LLとCPは総合棟に設置し、教学棟のその部分は屋上とする。
4. 東京の目黒にある学校は大変進歩的であるので参考にしたい。
5. 礼堂は原案では、3階建となるので1階の活動部分を総合棟へ組入れる。
6. 娯楽室の使用方法については、児童活動と、科学技術に使用する。
7. 階段教室の使用方法については、3クラスの集中授業と夏冬の教師を育成するための授業に使用する。
8. 音楽室の使用方法については1年～6年まで週2時間の授業であり、平均毎日12時間で各室3時間使用する。

第二小学校

1. 解体しない建物のクラスは20クラスであり、事務室13室、会議室1室がある。
2. 原案変更要望事項として、教室①～③を3階南側へ配置し、音楽室4室を北側へ配置する。3階から2階へ教師用図書閲覧室を配置する。

3. LLの使用方法について

漢語を3年生より毎週4時間（将来は5時間）授業する。

目的として、少数民族の文化を高めるためである。

大学入学後1年の準備期間で漢語を学習している。

4. 階段教室の使用方法については、第一小学校と同じ。

5. 解体しない建物には暖房設備を行う。

6. 福利院について

・便所は1階にしかないので、各階に設置する。

・各階に管理用の当直室を設置する。

建築公司及工場見学

期 日 1987年12月13日
場 所 和田地区建築公司及び工場
立会者 別紙参照

*** 内容 ***

質疑応答形式

1. 人員 800人
2. 資本金 535万元
3. 毎年の工事物件数 1,000~1,500件
4. 年間施工面積 20,000m²
5. 技術者 30人
6. 施工部隊 3部隊(機械隊、PC隊、大工隊)
7. 和田市には3つの建築公司がある。
8. ウルムチの総公司との関連は無い。
9. 和田市で材料が入手出来ないものについては、工場及び建材店に直接出向いて材料を購入する。
例えば材料が広州にある場合は広州まで行き、運搬費は公司負担である。
9. PC工場では、柱、梁、床板、電柱等を製造している。
10. 和田市の小学校は当建築公司以施工可能の旨発言があった。
11. 日本の設計図に基づき施工可能かどうかについては、
施工できる(基準が違えば中国側で図面を書き直す。)
12. 日本文設計図を翻訳する場合の翻訳者は当公司にはいないので、翻訳者を外部より招く。
13. 見積期間については、3,000m²の場合は10日、10,000m²の場合は20日間程度である。
14. 10,000m²の建物の工期については、15ヶ月程度である。
15. PCと現場打ちコンクリートを比較した場合については、PCは高いが工期が短い、現場打ちコンクリートはPCに比べ安いが工期を必要とする。
16. 2,800m²で78万元(350元/m²)で建設できるといわれている事については、安価でとても考えられない

17. 床板耐荷重は600~800Kg/m²(250mm厚)
18. 幅600の床版のタワミは1/500
19. PC版は工場渡し価格で410元/m³であり1m³で2枚製造できる。
20. PC版使用の砂利は、1.5mm~15mm
21. 工事の定額は一定していない。
22. 工場稼働時間は、10:00分から19:30分までである。
但し夜勤もある。
23. 製材用丸太の価格は600元/m³
24. 蒔きは1~2角/Kg
25. ホテルのSW、ガラス、アルミパネル、アルミサッシは上海からウルムチ經由で運搬し2ヶ月程度必要
26. SWは現場で組み立て
27. 床人研磨図案模様単価200元/m²
28. 天井石膏ボードはウルムチより購入
29. 壁紙は広州より購入
30. 工期は6,000m²で2年間

打合せ記録

期 日 1987年12月14日
場 所 和田市第一小学校
立会者 別紙参照

*** 協議議事録検討内容 ***

第一小学校

■ 1. LL教室

(LLの使用方法について)

- ・英語の授業を行い、3年生より週3時間行う

(6年生時のレベルについて)

- ・一般の英会話で英語の発音である。3、4年生のテキストはあるが6年生のテキストは無く、テープ教材で普通教室で勉強している。

(日本では中学校でもLLのある所は少ない。英語の授業を重視しているのであれば、教師の補充が必要である。テープを使用し普通教室で授業することについて。)

- ・この学校はウイグル自治区の重点学校であり、一般の学校よりは一步先に進まなければならない。

(現在英語教育を実施しておらず、急に先端的な教育をやっても困難である。)

- ・国家の規定によって必要であり、第二小学校は、ウイグル民族であり3年生から漢語を勉強する。

(語学は必要であるが、必ずしもLLが必要と思われることについて)

- ・先生の教育も行う。

(先生を教える先生について)

- ・ 師範学校卒業生を古参の教師が教育している。

(具体的な計画について)

- ・ 国家の規定により教育している。
計画はあり1週間に3回と夏、冬の休みを利用して教育している。

(現在の授業場所について)

- ・ 放送の教材で、普通教室で授業している

(要請内容における、教師の再教育は構想から外れていることについて)

- ・ 第一小学校、第二小学校の近代化を実現する教育の水準を高めるための重点校ある。北京でも重点校はLLがある。もし援助資金が困難であれば、LLを半分にしても実施したい。

(LL使用可能かどうか、重要である。機械は常に壊れやすく又、将来使用するとしても機械は古くなる。英語の授業が休止しているので、授業再開が必要であり、機械はその後である。)

■ 2. CP教室

(CPの学習2室要請について)

- ・ 週に2時間毎クラス

(ここで教える内容について)

- ・ 計算機の性能を初歩的に理解させることである。
・ プログラムを理解させることである。

(教える先生について)

- ・ 数学の先生
・ CP室があるのは、和田市第一、第二中学校にある

(数量について)

- ・ 36×2 台 = 72台である。

(数量については日本に持ち帰り検討したい)

(この教室を設置することには異議はない。規模については専門的に検討するので日本に持ち帰る。普通は1台の機械を4人程度で使用している。)

(メンテナンスについて)

- ・ 専門の人を派遣してメンテナンスを行う

(メーカーによる修理について)

- ・中国製品であるので問題ない。

(小学生が使用できるソフトの有無について)

- ・使用できるソフトは有る

(CP教育で4年～6年生までの具体的なカリキュラムの有無について)

- ・テキストは天津市青少年電算機センターのものであり、後日持参する。

(CPをどのような使用するのか資料の提出について)

■ 3. 自然教室

(自然教室は同じものが2教室かどうかについて)

- ・同じ教室である

■ 4. 準備室

(準備室は日本に持ち帰り検討したい)

■ 5. 弁公室

(弁公室は細かい室が14室必要かどうかについて)

- ・必要である

(弁公室で1人あたり面積の規定の有無について)

- ・国家教育委員会の規定があり、後日資料を提出する。

■ 6. 礼堂

(体育館はバスケットボールができる規模で良いか否かについて)

- ・良い

(舞踏室の使用について)

(娯楽活動室は援助にはなりにくいので名称を科技として使用する中で、模型、ラジコンは供与不可能である。供与できるのは望遠鏡程度である。)

■ 7. 階段教室

(階段教室の使用について)

・他の先生が教師の教え方を学ぶもので年1, 2回行う

(現在まで、このような授業の実施していたのかどうかについて)

・実施していた。

(大人も子供も使用すると階段教室は使用しにくい、また階段教室にする理由について)

・国家教育委員会によって1つの学校には150~180人収容設置の規定がある。中国の階段教室は多目的である。

(多目的な使用について)

・後日調査する。一人あたり1m²で計算している

(第一、第二小学校兼用について)

・第二小学校にも設置している。

(時間帯の分離使用による1箇所、設置について)

・使用率からすれば2箇所必要

(モデル授業は週5時間しかないので、2箇所の必然性について)

・第一、第二小学校とそれぞれの日程いがあり2箇所必要である。

(2箇所設置に伴う空室による、日本の援助では認められない事について)

・国家教育委員会では12クラスあれば階段教室を設置するようになっている。

(階段教室は利用度、機能の問題があり組織上援助は効率的に運用されるため理解していただきたい。)

■ 8. 音楽教室

(音楽教室の4室について)

- ・1クラス2時間授業のため72時間となる。毎日12時間で第3時限以降に授業する。金曜日と土曜日は授業は実施しない

(第1時限, 2時限に音楽を実施しない規定の有無について)

- ・規定は無い。

(金曜日と土曜日に音楽を授業しない理由について)

- ・金曜日と土曜日は教師の学習時間のためである。但し金曜日の午前中は授業はある。

(金曜日、土曜日の午後の授業の有無について)

- ・授業は無いが課外活動はある。

(現在の音楽室について)

- ・無い。普通教室で授業している。

(普通36クラスの場合、音楽室は1箇所であり楽器使用時には音楽室を使用することについて)

- ・2箇所では不足であり4箇所とした。

■ 9. 学生図書室

(図書室は2箇所あるが、1箇所とし広くて使用することについて)

- ・広くして使用する。

(現在図書室の有無について)

- ・現在は無い。書庫はある。

(蔵書室の規模は本の蔵書によって決定されるが、現在の冊数について)

- ・30,000冊で学生用はその1/2程度
教育委員会の規定によって1人あたり30冊となっている。

(第二小学校の蔵書室の有無について)

- ・無し

■ 10. 食堂

(食堂の必要性について)

- ・主に教師用の食堂であり一部の生徒が利用するため。

(第一と第二小学校兼用について)

- ・第一使用学校のみである。

(第二小学校の必要性について)

- ・必要である。福利院児童と教師が利用する。

(食堂は直接教育のための施設ではないので、採用されない場合について。)

- ・第一小学校では30年来食堂を使用している。

(予算の範囲で実施することとする。)

■ 11. ボイラー

(暖房用ボイラーについては日本では石炭ボイラーは無いので設計出来ない、そこで日本に持ち帰り必要な負荷を決定する。

その負荷に基づき中国側でボイラーの大きさの決定をすることについて。)

- ・必要な大きさを決定することは了解した。

第二小学校

■ 1. 普通教室

(20教室は既存教室を使用し、増設は16教室かどうかについて)

・そのとおり

(既存校舎には今回一切手をかをかけないので、中国側で施工することについて)

・中国側で施工する。

■ 2. LL・CP教室

(LLとCP教室は第一小学校と同じ考え方である)

■ 3. 蔵書室

(学生用の蔵書室がないが計画するので必要規模の提示について)

・第一小学校と同じ規模でよい。

■ 4. 弁公室

(行政弁公室16m²×14室について)

・第一小学校と同じである。

(第一小学校20室に比べ7室と少ないことについて)

・既存の校舎に13室があり、今回新築は7室で合計20室となり第一小学校とおなじである。

(第一小学校とおなじ造りでよいかどうかについて)

・第一小学校と同じで良い

(放送室と用務員室は第一小学校と同じ設計の考え方について)

・第一小学校と同じで良い

■ 5. 付帯室

(付帯室についての構造は、設計によって決定することについて)

- ・設計に一任する

■ 6. 福利院

(責任者について)

- ・和田地区児童福利院の院長である。

(この概要についての問い合わせ者について)

- ・和田市副市長 王栄法

(福利院の収容人員と年齢について)

- ・240人で7歳から14歳

(福利院収容児童は第一、第二小学校の児童数に計算されているのかについて)

- ・第一小学校36クラス、第二小学校20+16に組み組み入れている。

(収容孤児の数値は当初390人であったが、240人に決定した理由について)

- ・今回のプロジェクトでは教育を優先し福利院は第二とした。

孤児の中に親戚、友人がいればその人達に依頼した。また和田市の資金面の負担を軽減したい。

(7歳以下孤児の取り扱いについて)

- ・7歳以下なるべくはその村で解決する。村が責任を以て育てる方針である。7歳以下は扱いにくいし教育しにくいので管理費を含め設備費が多くなる。

(7歳以上孤児の福利院収容について)

- ・7歳以上になれば福利院に収容する。

(孤児の男女比率について)

- ・基本的には半分半分であるが後日資料を提出する。

(390人の内訳について)

- ・6歳以下28人、7歳から12歳まで194人、13歳から15歳まで168人

(15歳以上孤児の福利院出所後について)

- ・中学を卒業すればカシュガルに職業専門学校があるのでそこに入学させる。

(6歳以下孤児の人数について)

- ・6歳以下であるので、近所、友人、親戚が養育する。6歳以上になれば流浪して家を出ていく傾向がある。この統計は市で流浪している孤児の統計である。和田地区に民政局があるが、管理員がその村に出向いて流浪しないようコントロールする。

(6歳以下、7歳から12歳まで、13歳から15歳までの数年前の資料提出について)

- ・5年以前の資料はない。1984年に和田市となったので5年前の資料は確実である。和田地区の民政局と和田市の民政局が調査したので性格である。

(推移が判断出来る資料でよい)

- ・後日対外経済貿易部のYANG氏を通じて提出する。

(孤児の数が減少してきた場合の空室の処理について)

- ・いままで少数民族にたいして、子供数の制限をしなかったので生活を圧迫した。子供数の制限をすると少なくなる。民政局の調査では、昨年1,000人、今年4,038人で増加しているので最低5年は減少しない。孤児が快適な生活を送ることが判明すれば、孤児が増加するので空室となることは考えられない。付近の農村から流入してくる孤児が多い。和田市の孤児が減少して空室となれば、周囲の村の孤児が入室する。

(240人の孤児を第二小学校に吸収した場合の、収容方法について)

- ・孤児の7歳と14歳は考え方が異なるので学年別に収容する。

(孤児は既存のクラスに編入か、それとも孤児のみかどうかについて)

- ・現在は孤児を集中して学習させている。

(福利院の1室の大きさを決める基準について)

- ・国家に規定はなく、1室に6から8人住めればよいと考えている。2段ベッドとしたのは職業中学校の宿舎を参考にして決定した。

(収容される男女の比率について)

- ・240名のうち男58%女42%

(男女の区分について)

- ・階数で分離していただきたい。尚各階には管理人を配置する。

(階数別に分けることが困難な場合について)

- ・中間に隔離壁を設置する。

(福利院の事務室6室の使用について)

- ・ 2室追加して6室としていただきたい。
各階に1室で4室、1階には2室とし別に院長室と財政事務室を設置する。

(学習室4室設置について)

- ・ 4室設置する。

(学習室4室の使用方法について)

- ・ 課外活動

(医務室は病院と同程度の室と、機器要望理由について)

- ・ 面積は20m²×3室である。この面積については必要であり、診察室、薬局、医師の当直室である。設備については日本側に一任する。

(医務室使用方法について)

- ・ 孤児のための応急処置と第一、第二小学校の定期的な健康診断である。

(応急処置の場と健康診断を目的とし、薬品等は中国側の負担とすることについて)

- ・ 負担する。

(学習室、活動室は4室であるが、設計の都合上3室となることについて)

- ・ 了解する。

(浴室はシャワーと、することについて)

- ・ シャワーでよい

■ 7. 既存施設

(既存の施設について)

- ・ 暖房、飲水設備は無く、便所を改造していただきたい

(無償資金協力出行うことは困難である。もし必要であるならば独立した便所であれば造ることは可能である。)

- ・ 現在ある建物を撤去してそこに便所、飲水場を設置していただきたい。

(撤去は中国側で行うことについて)

- ・ 建物を壊す部分に便所、飲水場に改造したらどうか

(これは困難であり、新築したらどうか。撤去しないで建設するので日本側にまかせていただきたい改造は労力、時間、金額の問題があり困難である。)

- ・既存建物に暖房装置を設置していただきたい。

(新築と同じ程度経費を要するので出来ない)

- ・新築の建物は近代的であり既存の建物は古く平等でありたい。

(それはできない)

■ 8. ボイラー室

- ・ボイラーの能力は既存棟にも暖房配管する仕様で設計していただきたい。

(要望のとおりとする)

(ボイラー配管に伴う道路横断問題について)

- ・許可をとれば問題ない

(許可は中国側で行うこと。工事は無償資金協力で行う)

(ボイラー室は1棟で第一小学校、第二小学校で使用する案と、各々の小学校に建設する案があり経済的な案で設計することについて)

- ・経済的な案でよい

対応が困難な事項

1. LL教室

英語教育を実施していない段階で機器を導入するのは時期が早い、
従ってこれは設計の対象とはしないと考える。

2. マイコン教室

この教室については設置するが、規模については検討したい。
従って2室で60m²であるが、1室にするか又1室の面積を検討したい。

3. 音楽教室

4室要望されているが、これは多いと思われる。
楽器を使用するものは音楽室で授業し、歌唱は普通教室で授業することとする。
楽器については検討の対象としたい。

4. 階段教室

機能上からも階段教室にするよりも、通常の教室にすることが多目的に
使用できるのではないかと考える。この数については、第一小学校、
第二小学校と各々1室要望されているが、使用状況から判断すると1室
でよいと考える。

5. 体育館兼礼堂

この施設内の娯楽室は基本的には日本の制度にはなじまない。
但し科技活動の50m²の大きいものということで1室考慮する。

6. 主体教学棟、礼堂兼体育館、総合棟

3棟から構成されているが、総て第一小学校の施設もあるので、設計の段階で配置を考慮する。

7. その他設備

第一小学校の職員食堂は予算に余裕があれば考慮する。

8. 教室

第二小学校の各教室については第一小学校と同じとする。

9. 準備室

準備室内の児童用蔵書室は設置したい。

10. 児童福利院

学習室・活動室は設計上4室が3室となることがある。

11. 医務室

健康診断と応急処程度とする。

以上の考えかたについて機材も学習活動に必要なものを整備する。

供与が困難な事項

1. 課外活動用機材のファミコン、ラジコン、電動ミシン
2. 医療用の機材、薬品、X線等本格用機材
3. 車輛で大型バス、マイクロバス、散水車、食品運搬車、石炭運搬車
車輛は基本機材として必要だとは思われない。散水については、埃が多い
ので消火栓を用意して散水する方針とする。
4. その他の室については設計の考えかたと予算上考慮して検討する。

以上基本的な考え方に基づいて日本国内で検討し、2月上旬日本文を送付し、草案説明は3月上旬烏魯木齊でおこなう。

協議議事録の説明

1. 標題の確認
2. 署名者の所属に對外經濟貿易庁の次に外資外経処と記入する。
3. 本計画の目的
4. 本計画の位置
5. インフラは整備されているので削除等協議を行う

和田市副市長の質問事項

1. 門、塀について

- 建物だけ日本で設計した場合、バランスがとれないので今回同時に無償資金援助としていただきたい
(工事はあくまでも中国側で施工していただきたい)
(無償資金援助では門、塀、彫刻は制度上できない)
(調和の問題は日本の設計会社がアドバイスする)

2. 優先順位

- 無償資金援助の規定について、日本を訪問し調査のうえで優先順位に異議があれば再度検討するという事項を加えてほしい。
- 日本での調査は学校設備である
(新しいものを来日して要請に加えることについては、要請に答えかねる)
(優先順位は和田市の現状で順位をつけるもので、日本を見学して順位をつけるべきのものではないと思われる)

打合せ記録

期 日 1987年12月15日
場 所 和田市第一小学校
立会者 別紙参照

*** 協議議事録検討内容 ***

問題点

1) . LL教室の問題について

- ・日本とではLLに対する考え方が異なる。
 - ・中国の語学教育について調査して帰りたい。
 - ・日本へ持ち帰り検討し、1月来日のときに考え方を示したい。
- それまで結論は保留する

2) . 車輛の問題について

- ・車輛については無償資金援助では厳しく取り扱っている。
- ・本当に車輛が必要な場合は、病院の運搬車等である。
- ・石炭運搬車、食品運搬車は認められない
- ・マイクロバスは小学校で使用するのには困難である。
- ・福利院の孤児用であればよい。

この2点について和田市副市長の了解を得た。

書類作成方法

1. 類別で記入し面積及び教室の数は記入しない
2. 教室、準備室、弁公室、付帯施設は優先順位がないと思われるが、その他の食堂、厨房は優先順位をつける。
3. 機材は教育用、福利院用で必要なものに限定する。
4. 機材の取り扱いは昨日示したとおり、マイコン、ラジコン等は供与できない。また本格医療器具は供与できない。
5. テレビが44台要請されているが、これは検討する。
場合によっては、配線配管とし将来設置する方向とする。

打合せ記録

期 日 1987年12月18日
場 所 JICA北京事務所
立会者 調査団 柏木団長、中村副団長、
鈴木、坂理、飯野、前間、松本
JICA北京事務所 木村副所長、神谷

*** 報告内容 ***

1. 1988年1月19日より6名来日予定
2. 1988年1月19日までにレイアウト、機器の打合せを行う
3. 施工図は中国側（ゼネコン経費とする）とし下請けは入札で決める。
4. 基本的には第一小学校、第二小学校も同程度である。
5. 福利院は400人から240人に変更になった。
6. 宿舎は中学校の寄宿舎を参考とした。
7. 孤児の授業は7～14歳と年齢別に分ける。
集中的に授業し、学習内容を取得後第二小学校に編入する。
9. 第二小学校の児童数の伸びは孤児を見込んだ数値であることを確認し、孤児と小学校は関連したものであることを確認した。
10. 医務室は応急処置と身体検査程度とした。
11. 車については、マイクロバスで孤児をカシュガルに搬送の利用、また和田地区の巡回の用途に使用するものとして、1月19来日時に協議することとした。
12. ボイラー室については、ボイラーの設計は中国側とする。
第一小学校に設置し第二小学校に分配する方法とするのか、各々の小学校に
13. 門と塀は中国側とすることとした。
14. 銀行側手数料（6/1000）も中国側とした。
15. 関税、免税については、対外経済貿易部で処理する。
16. 見学の学校の内容は帰国して、JICAより農協設計に連絡する。
17. ドラフトは3月にウルムチで行う。

18. 実質工期はE/N後20ヶ月
19. 建築工期は16ヶ月
20. 竣工は1990年3月
21. ペンディングとして、LLについては今は無理だ伝えてある。
22. 職員食堂は資金に余裕があれば実施する。
23. 積算価格の元とのレートは米ドル140円で計上すればよい。

打合せ記録

期 日 1987年12月18日
場 所 JICA北京事務所
立会者 調査団 柏木団長、中村副団長、
鈴木、坂理、飯野、前間、松本
JICA北京事務所 木村副所長、神谷

*** 報告内容 ***

1. 1988年1月19日より6名来日予定
2. 1988年1月19日までにレイアウト、機器の打合せを行う
3. 施工図は中国側（ゼネコン経費とする）とし下請けは入札で決める。
4. 基本的には第一小学校、第二小学校も同程度である。
5. 福利院は400人から240人に変更になった。
6. 宿舎は中学校の寄宿舎を参考とした。
7. 孤児の授業は7～14歳と年齢別に分ける。
集中的に授業し、学習内容を取得後第二小学校に編入する。
9. 第二小学校の児童数の伸びは孤児を見込んだ数値であることを確認し、孤児と小学校は関連したものであることを確認した。
10. 医務室は応急処置と身体検査程度とした。
11. 車については、マイクロバスで孤児をカシュガルに搬送の利用、また和田地区の巡回の用途に使用するものとして、1月19日来日時に協議することとした。
12. ボイラー室については、ボイラーの設計は中国側とする。
第一小学校に設置し第二小学校に分配する方法とするのか、各々の小学校に
13. 門と塀は中国側とすることとした。
14. 銀行側手数料（6/1000）も中国側とした。
15. 関税、免税については、対外経済貿易部で処理する。
16. 見学の学校の内容は帰国して、JICAより農協設計に連絡する。
17. ドラフトは3月にウルムチで行う。

18. 実質工期はE/N後20ヶ月
19. 建築工期は16ヶ月
20. 竣工は1990年3月
21. ペンディングとして、LLについては今は無理だ伝えてある。
22. 職員食堂は資金に余裕があれば実施する。
23. 積算価格の元とのレートは米ドル140円で計上すればよい。

打合せ記録

期 日 1988年3月1日
場 所 JICA北京事務所
立会者 調査団 中村団長、
鈴木、飯野、松本
JICA北京事務所 木村副所長、神谷

*** 報告内容 ***

- * 草案を持参しまとめた経過について報告する。
- * 懸案事項であったLS設備については、日本側としては対象にしないことになった旨の報告をする。
- * 重点校についての説明も未だ不明確であるので再確認することとし、併せて言語教育の実態についても再確認する旨の報告をする。

打合せ記録

期 日 1988年3月2日
場 所 日本国大使館
立会者 調査団 中村団長、
鈴木、飯野、松本
日本国大使館 田尻書記官

*** 報告内容 ***

- * 草案を持参しまとめた経過について報告する。
- * 懸案事項であったLS設備については、日本側としては対象にしないことになった旨の報告をする。
- * 重点校についての説明も未だ不明確であるので再確認することとし、併せて言語教育の実態についても再確認する旨の報告をする。

打合せ記録

期 日 1988年3月4日
場 所 自治区对外貿易庁
立会者 別紙参照

*** 内容 ***

- * 草案を持参しまとめた経過について報告する。
- * 懸案事項であったL1設備については、日本側としては対象にしないことになった旨の報告をする。
- * 重点校についての明確な資料の提出をお願いする。
- * 言語教育の国家方針・実態についても明確な資料の提出をお願いする。
- * 更に、電子計算機教育についても明確な資料の提出をお願いする。
- * また、L1設備が設置されてる学校があれば見学させて欲しい旨をお願いする。
- * 上記要請に対して、資料はあるので至急用意する旨の回答を得た。
- * また、L1設備が設置されているウルムチ第17中学校を見学出来る旨の回答を得た。

類似施設調査

期 日 1988年3月4日
施設名称 ウルムチ第17中学校

*** 調査内容 ***

- * 1クラス48名用の中国製L1設備であってソフトも完備いた。
当初は、日本製のものを設備する予定であったが、予算の都合で大学に振替えられたとのことであった。一式30000元とのこと。
- * 重点校であるため、テレビ放送室、電子計算機室も完備していた。

打合せ記録

期 日 1988年3月4、5、7日
場 所 Xinjiang Guest House
立会者 別紙参照

*** 内容 ***

- * 草案を持参しまとめた経過と内容について説明する。
- * 十分満足のいく内容であり、感謝する旨の回答があった。
- * 懸案事項であるLL設備については、資料を至急準備しているので、整次次第、実情に即して再検討をお願いする旨の要請があった。日本側も検討する旨回答した。
- * ボイラー関係の資料を受領する。
- * 草案内容で一部訂正があった。

打合せ記録

期 日 1988年3月9日
場 所 JICA北京事務所
立会者 調査団 中村団長、
鈴木、飯野、松本
JICA北京事務所 田口所長、木村副所長、神谷

*** 報告内容 ***

- * 草案内容の説明経過について報告する。
- * 十分満足のいく内容であり、感謝するとの回答があった旨報告する。
- * 懸案事項であるLL設備については、資料が整ったので、実情に即して再検討の要請があり、日本側も検討すると回答した旨報告する。

打合せ記録

期 日 1988年3月9日
場 所 対外経済貿易部
立会者 調査団 中村団長、
鈴木、飯野、松本
対外経済貿易部 楊鉄林官員

*** 報告内容 ***

- * 草案内容の説明経過について報告する。
- * 十分満足のいく内容であり、感謝するとの回答があった旨報告する。
- * 懸案事項であるLL設備については、資料が整ったので、実情に即して再検討の要請があり、日本側も検討すると回答した旨報告する。
- * 3月10日北京市内でLL設備のある小学校を見学できる旨の回答があった。

類似施設調査

期 日 1988年3月10日
施設名称 北京市史家胡同小学校

*** 調査内容 ***

- * LL設備中心に見学する。
- * 1クラス48名用の中国製LL設備であってソフトも完備いた。
教室が狭いので30名、18名に分けて設備されてる。1、2年生は単語カードを使用し、3年生からLL設備を使用して本格的な英語学習をしている。
一式50000元とのこと。
- * 重点校であるため、ビデオ放送室、電子計算機室も完備していた。

類似施設調査

期 日 1988年3月11日
施設名称 北京市第二実験小学校

*** 調査内容 ***

- * LL設備はまだ装備されていないが、1、2年生には歌や遊戯で英語に親しませ、3年生から本格的な英語学習をしている。
- * 重点校であるため、ビデオ放送室、電子計算機室も完備しており、とくに電子計算機教育に重点を置き、ベーシックソフトが整い3年生から一人一台で本格的に学習している。

類似施設調査

期 日 1988年3月11日
施設名称 北京市黄城根小学校

*** 調査内容 ***

- * 重点校でない一般的な小学校であるため、LL設備はない。ビデオ放送室も、電子計算機室もこれから完備させる予定である。

JICA